

事業名	高山植物等保護対策費		
細事業名	山岳レンジャー配置等事業費	財務コード	126405
担当部課室	森林環境 部	みどり自然 課	自然保護 担当 (内線) 6508

調書番号	67
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 県指定希少野生動植物種のうち18種の高山植物	その対象をどのような状態にして 保護が図られている	結果、何に結びつけるのか 現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保
	内容 ○山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく指定希少野生動植物種のうち、高山植物の育成状況調査等の業務を行う。 ・委託先:山梨県山岳連盟 ・業務内容:希少野生動植物種の調査、高山帯に生息する野生動物の報告、登山者へのマナー指導等 ・期間:4月~10月の登山シーズン		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	山岳レンジャー出勤人数	目標	228	228	228	228	228	192
		実績(見込)	332	333	268	217	264	228
		達成率	145.6	146.1	117.5	95.2	115.8	100.0
		達成区分	a	a	b	b	b	b
成果指標	確認種数	目標	18	18	18	18	18	18
		実績(見込)	12	15	14	14	14	18
		達成率	66.7	83.3	77.8	77.8	77.8	100.0
		達成区分	c	b	c	c	c	b
決算(予算) 単位:千円		3,074	3,074	3,074	3,074	3,074	3,074	2,656

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	高山帯に生育する希少な植物が対象であるため、全ての種の確認は難しく、また、登山道沿いの調査が主であるため、道から外れた場所に生育している種については確認できないことがあり、やむを得ない。
成果指標	c		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	毎年同様のルートを調査しているが、植生も変化してきており、新たなルートを探索することにより、未確認となっている種を捕捉できる可能性がある。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	2018山梨県レッドデータブックが完成し、新たな希少野生動植物種の条例指定について検討が進むなか、業務実施区域等を見直し、現在の植生に合致した調査ルートへの変更を図り、対象種をより確実に捕捉する。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	業務実施区域等の見直しと現在の植生に合致した調査ルートの変更を図る。
----------	----	------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。